

令和4年度（2022年度）神奈川県知的障害施設団体連合会 事業報告

I 概要

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染発生から丸3年が経過し、その間のウイルス変異により引続き多大な影響を受けた年となりました。感染力の強いオミクロン株は会員施設・事業所に複数のクラスターをもたらしました。感染予防対策のコロナワクチン接種も5回まで進みました。高齢、基礎疾患等で重症化リスクが高い利用者の命と健康を守るため慎重に対応してきました。令和5年1月に国は、ようやくマスク着用の緩和や5月8日以降には2類相当から5類へ変更する方向を示しましたが、まだ収束したわけではありません。令和4年度は結果として日本知的障害者福祉協会（以下、日知協という）へ申請した見舞金は125件となり、全国でもトップの件数となりました。神奈川県知的障害施設団体連合会（以下、当連合会という）としましては、コロナ下の応援協力体制、コロナワクチン接種状況、各行政関係機関への要望・調整状況等の情報共有を図り4区市協会の活動を支援しました。コロナ下による各施設・事業所の日常活動や生産活動の活性化をはじめ地域交流等の社会活動の推進は、引続き感染予防対策実施の上、コロナによる3年間のブランクを乗り越えられるよう、当連合会の協力体制がその活動に寄与できるように今後とも進めたいと思います。

当連合会は、かながわ災害福祉広域支援ネットワークの構成団体として、神奈川県災害派遣福祉チーム(神奈川 DWAT)の創設に協力することを神奈川県と基本協定を令和3年1月26日に締結し、令和4年度も引続き会員施設へ参加を呼びかけました。結果、県下の福祉関係団体の理解を得て42法人87施設から155名がチーム員登録を完了しています(2023.3.31現在)。その中で当連合会からも多数の職員が研修を受けてチーム員登録しています。今後も防災活動については神奈川県、県社協と連携して進めてまいります。

人権委員会が毎年開催してきた新人職員対象の「人権研修会」はオンラインで開催。利用者ご本人参加の「あおぞら意見交換会」も2月18日(金)にオンラインで開催しました。オンラインでの開催は、移動する負担がないため、障害の重い方も参加しやすいという利点の発見もありました。

研修委員会としてはオール神奈川で開催している「第38回実践報告会」についても3年続けての中止となりました。今後はオンライン等を活用する研修のあり方も検討していきます。

総務委員会、事務局としては、コロナ下の対策としてZOOMライセンス(500人まで参加可能)を取得し、オンライン会議で理事会、各委員会、研修会等を開催しました。さらに当連合会ホームページを見やすいデザインに令和3年度にリニューアルしたため、令和4年度は各種の情報発信、会員ページの活用を図りました。

津久井やまゆり園事件から、6年を迎える2022年7月21日(木)に「やまゆりの日 追悼・講演会～共生社会の実現に向けて～」を神奈川県社会福祉センター401・402にて当連合会主催で開催しました。新型コロナウイルスの感染防止対策から役員のみ対面集合し、オンラインを活用したハイブリッド開催となりました。多数のご来賓と会員関係者で会場参加 32名とZOOM参加アカウント数 113名の参加でした。追悼式では黙祷の後、主催者より「あおぞら宣言」と共に挨拶し、来賓挨拶として日知協井上会長、関東地区知的協会山下会長、県社協篠原会長よりお言葉をいただき、続いて津久井やまゆり園の現状報告がありました。講演会では、社会福祉法人かしの木会理事長飯田雅子様「寄り添い支援を求めて」という題名でご講演をいただきました。ご講演は支援の原点に立ち返る「福祉のこころ」が伝わり、支援の真ん中にある理念、姿勢、方向性をご教示いただきました。続いて県行政説明では、意思決定支援、虐待防止と身体拘束の取扱いについての説明があり、最後に4区市協会よりの状況報告がなされ閉会となりました。このたびのやまゆりの日追悼・講演会を受けて、参加者一同改めて人権擁護の取組みを推進していくことを誓いました。特に飯田雅子先生の人権講演会「寄り添い支援を求めて」の様子は、動画編集されてYou Tubeでもオンデマンド配信されています。神奈川県社会福祉協議会様には共催いただき、ご協力とご配慮をいただきまして誠にありがとうございました。

令和4年度の神奈川県の障がい福祉は、令和3年度に設置された「当事者目線の障がい福祉に係る将来展望検討委員会」が提言した20年後のあるべき障がい福祉についての報告書に基づき、その趣旨を普遍化するため「当事者目線の障害福祉推進条例(案)」を策定する準備に着手しました。県は各関係機関団体へ条例策定の協力を呼びかけ、当連合会としても複数回のヒアリング及び意見書をもって意見具申しました。パブリックコメントも含めて様々な意見が出されたところですが協議、調整を重ねて同条例は10月の県議会で承認され、令和5年度より施行となりました。

当連合会は日知協の地方会として、関東地区知的障害者福祉協会と共に階層的な組織になっています。国との協議調整も日知協を通して行っていることから意見、要望等はとりまとめて情報共有に努めました。特に障害者総合支援法改正法施行後3年の見直しについては、次期報酬改定に向けての様々な課題について情報の周知に努めました。

日知協「第9回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール」においては、オール神奈川で小中学校に本企画の周知に努め、コロナ禍に関わらず沢山の応募をいただきました。応募状況は、小学生の部は11校・個人応募4人で計17作品、中学生の部は19校で計26作品でした。当連合会の選考委員会を経て小学生の部5作品、中学生の部5作品を日知協へ推薦し、6作品が入選を果たしました。学校をあげて取り組み多数の応募があった学校を表彰する学校賞は、川崎市立臨港中学校が受賞し、弦巻氏(川崎協会会長)が表彰状をお届けし、感謝を伝えました。

日知協の令和4年度「愛護福祉賞」「会長賞」の当連合会からの推薦については、関東地区福祉協会を通して日知協へ推薦申し上げた社会福祉法人みなと舎理事長 飯野雄彦様の会長賞受賞が決定いたしました。表彰式は令和4年7月14日(木)、2022年度全国知的障害関係施設長等会議全体会(会場は東京国際フォーラム)で行われました。祝賀会は横浜市内のワシントンホテルで9月28日(水)に開催しました。

懸案事項であった当連合会の法人化については、コロナの影響もあり遅れていましたが、令和4年度の事業計画の通り横浜駅西口公証センターにて定款認証を12月22日(木)に受け、法務局にて法人設立登記申請を令和5年2月1日(水)に行い、無事一般社団法人として立ち上がりました。今後の総会等はオンライン会議(ZOOM)が基本になります。日本知的障害者福祉協会、関東地区知的障害者福祉協会の地方会としての位置づけと共に、オール神奈川の障がい福祉推進のため組織体制の強化を図ってまいります。

II 事業の実施状況

1. 理事会・総務委員会等の開催

第1回 総務委員会 4月14日(木) 10:00~12:00 ZOOM開催

第1回 理事会 4月22日(金) 13:30~16:00 ZOOM開催

- ① 日本知的障害者福祉協会愛護福祉賞・会長賞に関する事
- ② 当事者目線の障害福祉推進条例の制定に関する事
- ③ 連合会法人化に関する事
- ④ 令和3年度事業報告・決算、令和4年度事業計画・予算に関する事
- ⑤ 連合会設立60周年に関する事
- ⑥ ホームページ運営規程に関する事

第2回 総務委員会 6月3日(金) 10:00~12:00 ZOOM開催

第2回 理事会 6月17日(金) 10:00~12:00 ZOOM開催

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染状況に関する事
- ② やまゆりの日講演会に関する事
- ③ 当事者目線の障害福祉推進条例の制定に関する事
- ④ 連合会法人化に関する事
- ⑤ 令和3年度事業報告・決算、令和4年度事業計画・予算に関する事
- ⑥ 連合会設立60周年に関する事
- ⑦ 全国小中学生障がい福祉ふれあい作文コンクールに関する事

第3回 総務委員会 8月26日(金) 10:00~12:00 ZOOM開催

第3回 理事会 10月7日(金) 10:00~12:00 ZOOM開催

- ① 県立中井やまゆり園事案についての現状報告に関する事
- ② 当事者目線の障害福祉推進条例の制定に関する事
- ③ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に関する事
- ④ 連合会法人化に関する事
- ⑤ 連合会設立60周年に関する事
- ⑥ 全国小中学生障がい福祉ふれあい作文コンクールに関する事

第4回 総務委員会 10月28日(金) 10:00~12:00 ZOOM開催

第5回 総務委員会 12月16日(金) 10:00~12:00 ZOOM開催

第4回 理事会 12月23日(金) 10:00~12:30 ZOOM開催

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染状況に関する事
- ② 連合会設立60周年に関する事
- ③ 全国小中学生障がい福祉ふれあい作文コンクールに関する事
- ④ あおぞら意見交換会、あおぞらプラン冊子増刷に関する事
- ⑤ 連合会法人化に関する事

第6回 総務委員会 3月17日(金) 10:00~12:00 ZOOM開催

第5回 理事会 3月24日(金) 10:00~12:00 ZOOM開催

- ① 県の意思決定支援の推進に関する事
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染状況に関する事
- ③ 全国小中学生障がい福祉ふれあい作文コンクールに関する事
- ④ 連合会設立60周年に関する事

監事監査は6月10日(金)近藤総務委員長が河原氏、荒井氏を訪問し実施。

2. 法人化への取り組み

懸案事項であった当連合会の法人化については、令和元(2019)年度より準備を始めて横浜駅西口公証センター(以下、公証センター)及び横浜地方法務局本局(以下、法務局)に相談して進めてきました。その後、コロナの影響もあり進捗が3年遅れましたが、令和4(2022)年度の事業計画の通り、以下の通り、令和5(2023)年2月1日付で一般社団法人として設立にこぎつけました。

・令和4年10月7日(金)理事会にて、定款作成の進捗状況報告、法人化に係る事務手続き及び必要書類(役員就任承諾書、本人確認証明書等)の説明をして承認を得る。

- ・ 11 月以降、公証センター担当者と定款認証に向けた協議、調整に入る。
- ・ 12 月 22 日(木)公証センターにて、4 県市会長、事務局出向き定款認証を受ける。
- ・ 12 月 23 日(金)理事会にて、定款認証完了を報告。
- ・ 令和 5 年 2 月 1 日(水)法務局にて、会長、事務局出向き法人設立登記申請書及び印鑑届書を提出。
- ・ 2 月 8 日(水)補正日を経て、一般社団法人として成立。
- ・ 3 月 31 日(金)現在の任意団体である県連合会の決算後、その事業、財産を一般社団法人の県連合会へ引き継ぐ形になります。
- ・ 今後の総会等は、会員施設が 400 を超えるためオンライン会議を基本とします。
- ・ 日本知的障害者福祉協会、関東地区知的障害者福祉協会の地方会としての位置づけと共に、オール神奈川の障がい福祉推進のため組織体制の強化を図ってまいります。

3. 連合会事業の実施

(1) やまゆりの日講演会

7 月 21 日 (木) 13:00～16:15 神奈川県社会福祉センター401・402 会議室
 ZOOM を使用したハイブリッド形式で実施 会場参加 32 名、ZOOM 参加 113 アカウント
 13:00～13:30 式典 司会：飯山文子理事

1. 黙祷

2. 主催者挨拶・あおぞら宣言～神奈川県知的障害施設団体連合会 会長 出縄 守英

3. 来賓挨拶 公益財団法人日本知的障害者福祉協会 会長 井上 博 様
 関東地区知的障害者福祉協会 会長 山下 望 様
 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 会長 篠原 正治 様

4. 来賓紹介 (上記 3 名様に加えて)

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会 会長 大矢 武久 様
 神奈川県手をつなぐ育成会 会長 中川 孝子 様
 一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
 理事長 安藤 浩己 様
 神奈川県身体障害施設協会 会長 柴田 和生 様
 特定非営利活動法人
 神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会
 理事長 戸高 洋充 様
 神奈川県民間知的障害施設協同会 会長 目黒 裕 様
 特定非営利活動法人神奈川セルフセンター
 理事長 鈴木 暢 様

5. 津久井やまゆり園報告～社会福祉法人かながわ共同会 理事長 山下 康 氏
 津久井やまゆり園 園長 永井 清光 氏

- 13:35～15:00 講演会 「寄り添い支援を求めて」
社会福祉法人かしの木会 理事長 飯田 雅子 様
- 15:05～16:00 行政説明
「神奈川県意思決定支援の取組みについて～神奈川県版ガイドライン～」
神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室 意思決定支援グループ
グループリーダー 大木 さち子 様 主査 松尾 隆広 様
「『虐待防止』と『身体拘束』の取扱いについて・神奈川県新型コロナウイルス
感染対策指針について」
神奈川県福祉子どもみらい局障害サービス課
福祉施設グループ グループリーダー 佐々木 崇 様
- 16:00～16:15 4 区市協会より状況報告
神奈川県知的障害福祉協会 会長 出繩 守英 氏
横浜市知的障害関連施設協議会 会長 斎藤 喜美夫 氏
特定非営利活動法人 川崎市障害福祉施設事業協会 施設長会
会長 弦巻 知利 氏
相模原市知的障害福祉協会 会長 今井 康雅 氏
- 16:15 閉会～ 連合会副会長・横浜協会会長 斎藤 喜美夫 氏

(2) 新任職員人権研修の実施

- 10月14日(金) ZOOM 開催 101名参加
講師 社会福祉法人明星会 竹の子学園 前総合施設長 坂井 正志 氏

(3) あおぞら意見交換会

- 2月15日(水) ZOOM 開催 49名参加
テーマ:「今、自分がしたいこと」
ZOOMのブレイクアウトルーム機能を活用しグループワークでの話し合いの実施

(4) 支援スタッフ部会の実施

- 第1回 6月29日(水) 役員会 ZOOM 開催 11名参加
総会 令和3年度事業報告、令和4年度事業計画、コロナ禍における活動内容の検討
- 第2回 9月22日(木) 研修会 ZOOM 開催 62名参加
テーマ:「津久井やまゆり園の取組み～『いま』『これから』のための意思決定支援」
講師:宮田かずみ氏・鈴木剛史氏(社会福祉法人かながわ共同会津久井やまゆり園)
- 第3回 11月1日(火) 研修会 ZOOM 開催 51名参加
テーマ:「マカトン法の基礎」
講師:東 敦子氏(日本マカトン協会・公認心理師)
- 第4回 12月22日(水) 役員会 ZOOM 開催 7名参加
次回研修会の内容検討等

第5回 3月14日(火) 研修会 ZOOM 開催 70名参加

テーマ:「摂食嚥下の仕組みと、課題を抱えた方への食事支援の実践」

講師:菅 武雄氏(鶴見大学歯学部)

(5) 事務研修部会の実施

コロナウイルス感染拡大により、研修会は開催には至らず。ZOOMによるオンライン会議で幹事会を2回行い、情報共有・発信方法を検討確認した。

幹事会 4月21日(木) 16:00～ 介護・福祉職員臨時特例交付金情報交換他

2月9日(木) 15:30～ 次年度事業計画(案)、当初予算(案)、

ベースアップ等支援加算情報交換、人材確保他

オンブズマンネットワーク交流研修会、実践報告会、医療看護研修会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。

4. 人権擁護の取り組み

(1) 合同人権委員会の開催 すべて ZOOM 開催

① 6月3日(金) 15:00～16:30

② 8月1日(月) 15:00～16:30

③ 10月4日(火) 15:00～16:30

④ 12月5日(月) 15:00～16:30

⑤ 3月22日(水) 15:00～16:30

この他、調査研究担当、セルフアドボカシ部会で随時打合せを実施

(2) 情報共有

会員施設での虐待案件等についての役員間での情報共有

(3) オンブズパーソン活動についてのアンケート調査の実施

(4) あおぞらプランⅢの増刷

連合会事務局、オンブズパーソン事務局の連絡先を更新し 15,000部増刷した

5. 防災に関する意見交換

(1) かながわ災害福祉広域支援ネットワーク

①連絡会

5月26日(木) 10:00～11:30 ZOOM 会議

10月13日(木) 10:00～11:30 ZOOM 会議

2月27日(月) 10:00～11:30 ZOOM 会議

②研修

基礎研修 12月2日(木) ZOOMによるオンライン研修 102名参加

DWAT 登録研修 7月29日(金) ZOOMによるオンライン研修 15名参加
DWAT ステップアップ研修 10月18日(火) ZOOMによるオンライン研修 13名参加
DWAT スキルアップ研修 2月8日(水) ZOOMによるオンライン研修 確認中

③訓練

情報伝達訓練 9月8日(木)
派遣調整訓練 11月18日(金)・1月20日(金)
派遣実働訓練 10月16日(日)・11月5日(土)

④その他

DWAT チーム員オンライン交流会の実施 2月8日(水)
神奈川 DWAT ニュースの発行

(2) 神奈川DWAT の締結について

・累計 協定締結法人 21 法人、協力施設 53 施設 チーム員登録数 44 名

6. 60周年に向けた準備について

60周年記念誌編集委員会

委員長 今井(相模原)

委員 浅井・里見(県域)、濱走・伊東(横浜)、弦巻・風間(川崎)、佐藤(相模原)

委員会開催状況

第1回 10月6日(木) 県民サポートセンター709

第2回 11月30日(水) 同上

第3回 1月25日(水) 同上 302

第4回 3月16日(木) 同上 708

7. 日知協・関東地区協会の関連

(1) 日本知的障害者福祉協会 会長賞 受賞

社会福祉法人みなと舎 理事長 飯野 雄彦様

表彰式 7月14日(木) 2022年度全国知的障害関係施設長等会議 東京国際フォーラム

祝賀会 9月28日(水) 横浜桜木町ワシントンホテル

神奈川県民間知的障害施設協同会等と有志で実施。59名参加。

(2) 関東地区会長・事務局長会議 5月24日(火) オンライン開催

(出縄・斎藤・弦巻・今井・近藤・阿部)

(3) 日本知的障害者福祉協会定時評議員会 6月15日(水) オンライン開催

10月26日(水) 書面決議 (出縄)

(4) 日本知的障害者福祉協会と関東地区会との意見交換会 1月30日(月) オンライン開催

(出縄・斎藤・弦巻・今井・近藤・阿部・風間・矢嶋)

(5) 部会協議会・支援スタッフ代表者会議 2月28日(火) TOC有明コンベンションセンター

(目黒・長谷川・佐々木・森下・福岡・北山・清田・池田・能條)

- (6) 関東地区知的障害関係施設種別代表者会議 11月25日(金)オンライン開催・山梨県
(4 縣市協会から会長・総務委員長・各部会代表者が出席)
- (7) 関東地区障害者支援施設部会研修会 2月10日(金)オンライン開催・神奈川県
(出縄・赤司・長谷川・永井・佐々木・秋岡)

関東地区知的障害関係職員研究大会(栃木県)は感染症拡大の影響で中止

8. 第9回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール

- ①募集 6月1日から9月16日
- ②選考 10月6日(木) 10:00~11:00 ZOOM 開催
- ③選考委員 柴田(県域・湘南つつみ苑)、東海(県域・わらべの杜)、大水(県域・ほうあんのぞみ)、村川(横浜・愛)、弦巻(川崎・みやうち)、風間(川崎・KFJ 多摩はなみずき)、玉井(相模原・銀河)
- ④表彰の授与
学校賞 川崎市立臨港中学校 1月18日(水)訪問(弦巻)
入選(小学生5作品、中学生1作品)は日本知的障害者福祉協会より賞状・副賞が贈られた

9. 当事者目線の委員会、障がい福祉計画、条例についての意見交換

- (1) (仮称)神奈川県当事者目線の障がい福祉推進条例 制定に向けた意見交換
5月12日(木) ZOOM 開催 4 縣市協会役員 23 名出席
5月27日(金) ZOOM 開催 県域協会施設長会で連合会全会員に周知し実施
7月28日(木) ZOOM 開催 32 名参加
- (2) 神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例 制定についての説明
12月9日(金)・3月10日(金) ZOOM 開催 県域協会施設長会で実施
- (3) 神奈川県障がい者施策説明会
3月14日(火) 書面開催のため、ホームページへの掲載を周知

10. 他団体との連携

- (1) 神奈川県障害児者団体連絡協議会運営委員会
6月13日(月) ZOOM 開催(安藤・出縄・今井・出口)
- (2) 一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会理事会
① 6月13日(月) ZOOM 開催(安藤・出縄・斎藤・今井・出口)
② 9月7日(水) ZOOM 開催(安藤・出縄・斎藤・弦巻・今井)
③ 3月30日(木) 県社会福祉センター402 会議室(安藤・出口)
- (3) (一社)神奈川県障がい者スポーツ協会への協力
①当連合会は、設立準備室から委員を派遣し令和2年度に設立した神奈川県障がい者スポー

ツ協会の正会員として加入をしている。

②令和4年度については、4回の理事会が開催され、赤司氏が理事会に参加した。

③令和4年度の第39回神奈川県ゆうあいピック大会は、神奈川県障がい者スポーツ協会の主催事業として、コロナ渦ではあったが感染対策を行い神奈川県立スポーツセンターにて、サッカー、バレーボール、バスケットボール競技、ソフトボール競技を行った。県連合会の会員施設からは今年度もわらべの杜がサッカー競技に参加した。また、競技運営にあたり、サッカー競技について、進和学園、七沢学園より運営委員を派遣した。

11. 神奈川県との連携

津久井やまゆり園事件追悼式 7月26日（火）（出縄・今井）

12. ホームページの活用について

昨年度リニューアルしたホームページは、研修会などの講演動画をいつでも視聴できるように、会員ページに動画を掲載し、会員に周知した。

掲載内容：神奈川県知的障害福祉協会施設長会研修会

「施設内虐待防止と利用者からの暴力への対応」

講師 市川和彦氏 会津大学短期大学部 幼児教育学科 教授

令和4(2022)年度 一般社団法人 神奈川県知的障害施設団体連合会 事業報告

I 概要

懸案事項であった神奈川県知的障害施設団体連合会(以下、連合会)の法人化については、令和元(2019)年度より準備を始めて横浜駅西口公証センター(以下、公証センター)及び横浜地方法務局本局(以下、法務局)に相談して進めてきました。その後、コロナの影響もあり進捗が3年遅れましたが、令和4(2022)年度の連合会の事業計画の通り、以下の通り無事、令和5(2023)年2月1日付で一般社団法人として設立にこぎつけました。

II 経過

1 理事会の手続きについて

- ・令和元(2019)年3月6日理事会において法人化に向けた検討を開始、以降の理事会で具体的に進める承認を得て、公証センター及び法務局に相談し準備を進めてきました。しかし、令和2(2020)年から未曾有の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて一時中断。その後3年を経て令和4(2022)年度に法人化の準備を再開しました。
- ・令和4年10月7日(金)理事会にて、定款作成の進捗状況報告、法人化に係る事務手続き及び必要書類(役員就任承諾書、本人確認証明書等)の説明をして承認を得る。

2 公証センターへの定款認証に係る手続きについて

- ・令和4年11月以降、公証センター担当者と定款認証に向けた協議、調整に入る。
- ・12月22日(木)公証センターにて、4県市長、事務局出向き定款認証を受ける。
- ・12月23日(金)理事会にて、定款認証完了を報告。

3 法務局への法人設立登記申請に係る手続きについて

- ・令和5年2月1日(水)法務局にて、会長、事務局出向き法人設立登記申請書及び印鑑届書を提出。
- ・2月8日(水)補正日を経て、一般社団法人として成立。法人成立の年月日は令和5(2023)年2月1日となります。

4 今後の手続きについて

- ・令和5年3月31日(金)現在の任意団体である県連合会の決算後、その事業、財産を一般社団法人の県連合会へ引き継ぐ形になります。
- ・今後の総会等は、会員施設が400を超えるためオンライン会議を基本とします。
- ・日本知的障害者福祉協会、関東地区知的障害者福祉協会の地方会としての位置づけと共に、オールかながわの障がい福祉推進のため組織体制の強化を図ってまいります。

以上